

課題番号2

課題名	【重点課題2】新規就農者・企業の確保育成 都市農業を支える新たな担い手の確保育成	
対象： 新規就農者		計画期間 R4～R8 事務所名 北部農と緑の総合事務所
普及課題	活動方法	活動成果
新規就農者支援体制強化と 取組の具体化	①大阪産(もん)スタートアカデ ミー(有機農産物アカデミー)の 実施 ②大阪産(もん)スタートアカデ ミー(有機農産物アカデミー)生 の就農支援	①5名がアカデミー修了後の独立就農を希 望(1者は就農済み) ②R4～R6年度の管内新規就農者のう ち、アカデミー修了生8名

総合評価 (コメント)	
A : 2名	B : 3名
<p>■ 今後は、農業経営の持続性が実現するよう、販路の探求、簿記会計や経営分析のスキルを磨かれることを期待する。</p> <p>■ 大阪産(もん)スタートアカデミーが大阪農業の担い手確保に大きく貢献していると感じた。北摂地域の現状や需要動向を踏まえて研修品目を選定しており、地域の課題解決に有効な取組と評価。一方で、栽培技術指導に留まらない特徴的な支援活動があるとさらに良くなると感じた。</p> <p>■ 大阪産(もん)スタートアカデミーやいちごアカデミーを通して新規就農を支援している点がすばらしい。一方で、北部では他地域よりも高齢化が進行しており、若手育成が急務となっている点を考慮すると、まず人数を確保する方向に重心を移すことも考慮するべき。アカデミー応募者全員にそれぞれの能力、熱意に応じた農業への道を用意することで、受講生としての基準に満たなかった応募者を育てる視点も期待したい。</p> <p>■ アカデミーへの応募者25名のうち6名を受講生としているのは理解できるが、残りの希望者をそのままにしないで就農への意欲に応じた講座などですくい取ることができれば都市農業へのファン作りになるのではないかと。アカデミーが短期間だけに、就農希望修了者への支援が重要であるが、R8年に向けその就農支援に重点を置くことを課題とするのは良い。</p> <p>■ 有機農業などを指導してくれる農家は貴重な地域の財産。そういった指導者を少しずつ増やしていくのも重要だと思います。アカデミー受講希望者で選考で受けられなかった人へのフォローもあってよいかと思っています。</p>	

評価 A: おおむね適切である。 B: 部分的に検討が必要である。 C: 見直しが必要である。